



城だより

第674号

日本古城友の会・会報 令和7年(2025)2月2発行

山城 笠置山城を訪ねる (3月・第737回例会)

日時: 令和7年3月2日(第1日曜日) 現地集合 ◎雨天時 行先変更あり

集合: JR 笠置駅前 10時集合

行程: 笠置駅出発 ⇒ 登山口(東海自然歩道) ⇒ 南側尾根に残る曲輪 ⇒ 土塁・横堀 ⇒ 六角堂跡(昼食) ⇒ 笠置寺見学(行場巡り) ⇒ 下山 ⇒ 笠置駅(15時頃解散)
※南側尾根の曲輪、土塁・横堀を見学した後、六角堂跡から笠置寺に入ります。拝観料は300円。行場巡りには40分程必要。途中で弥勒摩崖仏・伝虚空蔵摩崖仏あり。

アクセス: 【関西本線】 大阪駅 → 木津駅 → 加茂駅 → (普通亀山行) → 笠置駅
(大和路快速 加茂行) 8:27 発 9:28 発 9:34 着 (乗換) 9:40 発 9:47 着

↑

【片町線】 京橋駅 → 木津駅 (乗換)

(快速 木津行) 8:13 発 9:14 着

【奈良線】 京都駅 → 木津駅 (乗換)

(区間快速奈良行) 8:16 発 9:03 着

【参考】(帰路) 笠置駅 → (普通加茂行) → 加茂駅 → (大和路快速) → 大阪駅

15:27 発 15:35 着 (乗換) 15:41 発 16:54 着

担当幹事: 下岡 力・平川大輔

持ち物: 弁当(笠置駅では購入困難。事前に用意してください。) 飲物、敷物、帽子、ハイキング靴、ステッキ、タオル、雨具、軍手は必ず持参し、マスク着用は各自の判断でお願いします。

参加費: 賛助会員・正会員 800円、通信会員・当日参加者 1000円

(資料代・保険代・記念写真代・下見費用として)

問合せ: 下岡 力

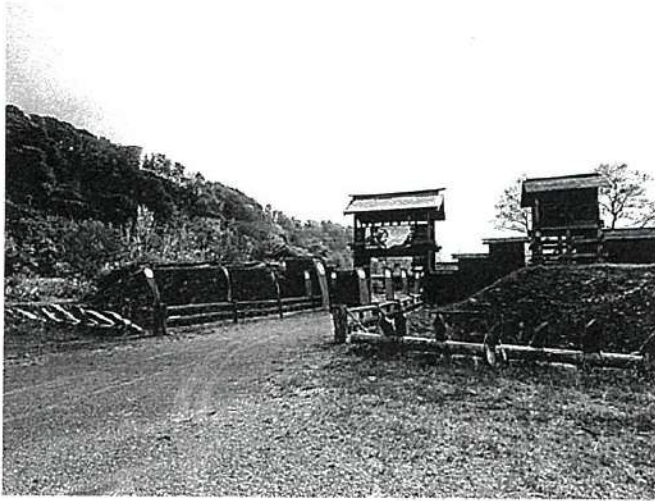
(開催は新型コロナ感染状況によります。ホームページを確認の上ご参加ください。)

【今回のみどころ】

笠置山城跡は京都府最南端の山間を流れる木津川に張り出す標高288mの笠置山山頂とその周辺にある。山頂には奈良時代創建と伝わる笠置寺があり、境内には巨大な線刻の摩崖仏が2体存する。笠置寺は元弘元年(1331)元弘の変の舞台となり、同寺に籠った後醍醐天皇を攻めた鎌倉幕府軍により堂塔伽藍の大部分が焼失した。天文10年(1541)に山城守護細川晴元の守護代木沢長政が入城しており、戦国期には山城として利用されていたことが文献上確認できる。

城跡は笠置山の山頂から南方向に緩やかに下がる尾根上の曲輪で構成されており、城の南限の

にある野外映画撮影所である「スタジオセディック庄内オープンセット」に行った。



(戦国エリア 大手門)



(戦国エリア 二ノ門)



(戦国エリア 二ノ門(内側))



(宿場町エリア)

延長 2km にわたる道を路線バスで利用して、「戦国大手門エリア」「宿場町エリア」「山間集落エリア」「農村エリア」「漁村エリア」「風のエリア」の 6 つのエリアを見学する。最近の映画では「THE LEGEND & BUTTERFLY」「サムライマラソン」「超高速！参勤交代」「超高速！参勤交代リターンズ」などがある。さすが撮影所である。当時の雰囲気そのままリアルに伝わってくる。400 年以上前にタイムスリップした感があった。また、映画を再度見直すとこんな風にセットが使われていたのかと感心する次第である。私の好きな歴史小説家の藤沢修平氏は鶴岡市出身の作家で映画「山桜」や「必死剣鳥刺し」もここで撮影されている。藤沢修平記念館は鶴ヶ岡城（鶴ヶ岡城址公園）内の荘内神社の向かい側にある。次回は天童城について述べることにする。 つづく

日本古城友の会

会 長 中西 徹

事務局 事務局長 平川 大輔

HP アドレス <https://www.kojyo-tomonokai.com/>

編集・発行 編集部長 下岡 力